

磐城時報

日刊
昭和二十一年七月廿一日
編集者 磐城新聞社
印刷所 磐城印刷局
発行所 磐城新聞社
〒970 磐城
電話 二一四
代金 一月三圓
半年一五圓
一年三〇圓
廣告料 一行一圓
印刷費 一行一圓

石城郷友會の財産

縣から無償交付

縣參事會で決定

今日では縣有財産に歸した仙臺十二日兩日元石城郡衙に開催、市袋町にある石城郷友會の財産、講師として縣長、吉田統計主事、宅地七十四坪三合七勺、畑一反、六畝八歩及び平家建物附屬三棟の處分については十九日縣參事會で審議の結果、會長江尻文喜、外六名が財團法人を設立した都合に無償交付すると決定したが、理由を聞くに、この財産は元石城郡内の町長及び有志、人々が當時仙臺市にあつた歩兵第二十九聯隊の入營兵士の爲に贈金し石城郷友俱樂部を設立したものであつたが、之れを法人組織とせず郡制時代の事として石城郡の名義によつて此財産を管理して居つた處其後郡制廢止の法律によつてその管理權も自然消滅し其儘縣有財産のうちに移管され今日に至つたものであるが、近年兵士に代るに幾多の學生が在仙する事になつたのでそれ等の便宜をかねて石城郷友會を法人組織とする議が具体化したのでその實現も近きにあり斯くは無償交付することになつたものである。

赤沼海岸で教育關係懇親會

郡農會で茶栽培督勵

仲ノ作築港を江名町から陳情

平戸籍吏會 平區裁判所管内戸籍吏會は二十四日、二十五日兩日元石城郡役所に開く

木炭同業總會 濱三郡木炭同業組合検査員及び指導員會議は二十三日午前十時か石城郡役所に開催する。

夏井川畔に綿行商の詐欺

平野で卒倒

驚いた!!!

平野で卒倒

驚いた!!!

平野で卒倒

驚いた!!!

平野で卒倒

驚いた!!!

平野で卒倒

驚いた!!!

平野で卒倒

驚いた!!!

平野で卒倒

夏井川に沿ふて岩つゞじが密生してゐる連山が釜の汽車からの眺めが格別なもので有名であるが、昨今暖かさに咲き初めたものもあり盛りは近い事と待たれてゐる。

川部青年總會 川部福島縣下に於ける犯罪者は最近と言はれてゐる、右について村青年總會は十六日午前十時同村小學校に開き平區裁判所小泉村の講演があつた。

貴金屬展覧會 東京市銀座一丁目石井貴金屬商は廿八日から三日間平野元石城郡役所所で貴金屬展覧會を開く。

四倉火葬場計劃 鉢合せとなつて行惱む 圓満妥協の上設置か 四倉町は磐城セメント會社等の關係で最近俄かに膨脹し一ヶ年の死亡者三百五十名内外でこの内傳染病で火葬に附する者四十名の多きに達してゐるが、同町には火葬場の設置なく一般では野原の火葬場で火葬を行つてゐる始末でその不便が多いのを見、水谷四倉署長は杉原町長外町會議員等と協議の結果巨費一千五百圓で理想的火葬場を新設する計劃を樹てたが、一方町民側では長谷川好之助、川又八重松外六氏が、營利を目的とする火葬場設置を計劃し、この兩方の計劃が衝突して目下行き悩みの状態にあるが、近く兩名が妥協点を見て工事に着手するものと見られてゐる。

平野の四人全部を福島に送る噂 正式の通知には接しない 坪野松平刑務所長談 福島縣下に於ける犯罪者は最近と言はれてゐる、右について坪野松平刑務所長は語る。平野刑務所に於ける囚人は現在四十四人で看守十六人です、囚人全部を福島に送るといふ事は未だ正式の通知には接してゐません、然し噂がいろいろあります、或はさうなるかも知れない、さうなれば看守も少なくなるわけですよ。云々

平野で卒倒 行路病舎に收容 茨城縣新治郡石岡町物理化學機械修繕業内田高次郎(五二)は二十日午後九時四十二分頃平野上り列車で若手縣から來り平野下車した處、突然構内内で打ち倒れたので大騒ぎとなり直ちに醫師を招き手当を施したので蘇生したが、老衰の結果で故郷に親族もなく殆んど孤兒の形にある憐れな老人で取り敢へず平野では行路病舎に收容した。得た感激はこんな事ではたまらない。その序に九月の縣會議員改選についての交渉をも進めようといふ事になり、鈴木氏から「どうです。政友四名、憲政二名で無競争の選挙を行つては」と言ひ出した野崎氏が頭をひねつてゐるうち立會人吉田五平氏が、そんな事では駄目だ、と投げ出すやうに鈴木氏の話を引き止めたので、野崎氏も、さうだねと結局この交渉だけは未だ妥協がつかないでゐるといふが、更に交渉を續けてゐるといふから或は意外な妥協が纏まるかも知れず、成程無競争なら自動車買入費位は浮くわけだと世間でも注目してゐる。

平野で卒倒 行路病舎に收容 茨城縣新治郡石岡町物理化學機械修繕業内田高次郎(五二)は二十日午後九時四十二分頃平野上り列車で若手縣から來り平野下車した處、突然構内内で打ち倒れたので大騒ぎとなり直ちに醫師を招き手当を施したので蘇生したが、老衰の結果で故郷に親族もなく殆んど孤兒の形にある憐れな老人で取り敢へず平野では行路病舎に收容した。得た感激はこんな事ではたまらない。その序に九月の縣會議員改選についての交渉をも進めようといふ事になり、鈴木氏から「どうです。政友四名、憲政二名で無競争の選挙を行つては」と言ひ出した野崎氏が頭をひねつてゐるうち立會人吉田五平氏が、そんな事では駄目だ、と投げ出すやうに鈴木氏の話を引き止めたので、野崎氏も、さうだねと結局この交渉だけは未だ妥協がつかないでゐるといふが、更に交渉を續けてゐるといふから或は意外な妥協が纏まるかも知れず、成程無競争なら自動車買入費位は浮くわけだと世間でも注目してゐる。

平野で卒倒 行路病舎に收容 茨城縣新治郡石岡町物理化學機械修繕業内田高次郎(五二)は二十日午後九時四十二分頃平野上り列車で若手縣から來り平野下車した處、突然構内内で打ち倒れたので大騒ぎとなり直ちに醫師を招き手当を施したので蘇生したが、老衰の結果で故郷に親族もなく殆んど孤兒の形にある憐れな老人で取り敢へず平野では行路病舎に收容した。得た感激はこんな事ではたまらない。その序に九月の縣會議員改選についての交渉をも進めようといふ事になり、鈴木氏から「どうです。政友四名、憲政二名で無競争の選挙を行つては」と言ひ出した野崎氏が頭をひねつてゐるうち立會人吉田五平氏が、そんな事では駄目だ、と投げ出すやうに鈴木氏の話を引き止めたので、野崎氏も、さうだねと結局この交渉だけは未だ妥協がつかないでゐるといふが、更に交渉を續けてゐるといふから或は意外な妥協が纏まるかも知れず、成程無競争なら自動車買入費位は浮くわけだと世間でも注目してゐる。

